

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	尚絅大学短期大学部
設置者名	学校法人尚絅学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
短期大学部	総合生活学科	夜・通信	1	0	6	7	7	
	食物栄養学科	夜・通信			6	7	7	
	幼児教育学科	夜・通信			6	7	7	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<p>本学 Web サイトにおいて公表 (URL : https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/outline/disclosure) (URL : https://gakumu.shokei-gakuen.ac.jp/) ※ゲストユーザーからログインし、添付書類の「実務経験のある教員一覧」を参照しながらシラバスを検索してください。</p>
--

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	尚絅大学短期大学部
設置者名	学校法人尚絅学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

本学 WEB サイトにて公表
<https://www.shokei-gakuen.ac.jp/outline/>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	株式会社役員	2021.4.1 ~ 2025.3.31	経営者として広く社会的知見を活かした経営計画策定への参画、組織運営体制へのチェック機能
非常勤	株式会社役員	2019.7.12 ~ 2023.7.11	経営者として広く社会的知見を活かした経営計画策定への参画、組織運営体制へのチェック機能
(備考)			

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	尚綱大学短期大学部
設置者名	学校法人尚綱学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>■尚綱大学・尚綱大学短期大学部授業計画作成ガイドライン (URL : https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/outline/disclosure/)</p> <p>■各学部の授業科目一覧 (URL : https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/outline/disclosure/)</p> <p>■各学部の授業科目のシラバス一覧 尚綱大学・尚綱大学短期大学部教務システム (URL : https://gakumu.shokei-gakuen.ac.jp/) (ゲストユーザーからログインし検索)</p> <p>■授業履修の手引き COMPASS (URL : https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/outline/disclosure/)</p> <p>■概要 授業計画書(シラバス)は、例年 11 月頃に全学委員会である教務連絡協議会において、次年度のシラバスの作成・点検期間を決定している。12 月に授業担当教員を対象にシラバスの作成・注意点等について説明し、翌年 1 月下旬まで授業担当教員によるシラバス初校データ作成の後、シラバス点検委員の点検を受け、4 月 1 日に公表している。</p> <p>授業概要(シラバス)は、教務システム(ユニバーサルパスポート)において、学生が履修するうえで必要な事項、具体的には、事前・事後学修、成績評価方法、成績評価の割合(例:定期試験 50%、レポート提出 30%、小テスト 20%)、実務経験のある教員などを記載している。また、学修への意欲を試験やレポート等で把握し、学修成果の厳格かつ適正な評価に基づき、単位を与えることとしている。</p> <p>授業計画作成ガイドライン及び履修の手引き等は大学 Web サイトにて公表し、教務システム(ユニバーサルパスポート)を通してシラバスを公開している。</p> <p>なお、実務教員による授業科目については、上記の本学教務システムにおいて、実務経験のある教員一覧を参照できる。</p>	
授業計画書の公表方法	<p>本学 Web サイトにおいて公表。 https://gakumu.shokei-gakuen.ac.jp ※ゲストユーザーからログインし、シラバスを検索してください。</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
<p>■概要</p> <p>尚綱大学短期大学部学則第 12 条に定められた単位の計算方法により各授業科目の単位数を決定し、且つ尚綱大学短期大学部学則第 23 条及び第 29 条に基づき、単位・卒業の認定を行う。</p> <p>本学では単位の認定を行うにあたり、各教員に対してその授業を学ぶ「意味・意義」を意識させたシラバスの作成を求め、またその授業科目がディプロマ・ポリシー（学位授与方針）とどのように関連しているかを明示するよう求める。</p> <p>具体的には「授業概要」「キーワード」「課題と評価の方法」「事前・事後学修の内容と目安」など記載し、入学した学部・学科の教育課程の授業を履修し、各授業科目に定めている「到達目標」を達成し、学力試験及び受講状況その他により認定のうえ、合格した者に単位を認定するものとする。</p> <p>最終的に2年以上在学し、所定の授業を履修したうえで、62 単位以上の単位を修得した者について学年又は学期の終わりに教授会の議を経て、学長が卒業を認定とする。</p> <p>(根拠学則) 尚綱大学短期大学部学則第 12 条、同第 23 条、同第 29 条 https://www.shokei-gakuen.ac.jp/files/univ/disclosure/2023/gakusoku_univ.pdf</p>	
3. 成績評価において、G P A 等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。	
(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)	
<p>■G P A の算定について</p> <p>尚綱大学短期大学部におけるグレード・ポイント・アベレージ (GPA) 制度に関する規程 (URL : https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/outline/disclosure/)</p> <p>■G P A の種類及び算出方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・G P A は、学期G P A、通算G P A に区分する。 ・G P A は以下の式により計算するものとし、小数点第 3 位を四捨五入し、小数点第 2 位を表示させるものとする。 ・総履修登録単位数は、G P A 算出対象の授業科目の合計履修登録単位数とする。 <p>G P A =</p> $\frac{(\text{秀} 4 \times \text{修得単位数}) + (\text{優} 3 \times \text{修得単位数}) + (\text{良} 2 \times \text{修得単位数}) + (\text{可} 1 \times \text{修得単位数})}{\text{総履修登録単位数}}$ <p>■概要</p> <p>本学では学生の成績の客観的な指標として、G P A (グレード・ポイント・アベレージ) を採用している。そのうえで、学生の相対的な成績状況を把握している。また、学生の成績を各学科の専任教員等に情報を共有し、履修指導や各種奨学金等に関することなど、学生指導への活用などを行っている。</p>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	<p>本学 Web サイトにおいて公表。 https://www.shokei-gakuen.ac.jp/files/univ/disclosure/2019/11_gpa_tanki.pdf</p>
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

■大学のディプロマ・ポリシー

尚綱大学・尚綱大学短期大学部 ディプロマ・ポリシー (学位授与方針)

https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/gakubu/diploma_policy

■概要

各学科においてディプロマ・ポリシー (学位授与方針) を定めており、2年間においてそれらの資質・能力を満たすために、カリキュラムの中にある授業科目を履修することで、学位が授与される。また、尚綱大学短期大学部学則において卒業認定に関する事項が記載されているが、卒業に必要な最低単位数や卒業要件 (卒業資格) は、各学科の履修規程において記載されている。

各学科の卒業要件 (卒業資格) に達した学生は、学年又は学期の終わりに、教授会の議を経て、学長が卒業を認定することになっており、その卒業認定の結果については、学内の掲示板への掲示等により学生に通知することになっている。

参考：

尚綱大学短期大学部学則第 29 条

尚綱大学短期大学部履修規程第 4 条

https://www.shokei-gakuen.ac.jp/files/univ/disclosure/2023/gakusoku_tanki.pdf

卒業の認定に関する
方針の公表方法

本学 Web サイトにおいて公表。

https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/gakubu/diploma_policy

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	尚綱大学短期大学部
設置者名	学校法人尚綱学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	本学 Web サイトにおいて公表 https://www.shokei-gakuen.ac.jp/files/gakuen/R04.pdf
収支計算書又は損益計算書	本学 Web サイトにおいて公表 https://www.shokei-gakuen.ac.jp/files/gakuen/R04.pdf
財産目録	本学 Web サイトにおいて公表 https://www.shokei-gakuen.ac.jp/files/gakuen/R04.pdf
事業報告書	本学 Web サイトにおいて公表 https://www.shokei-gakuen.ac.jp/files/gakuen/R04.pdf
監事による監査報告(書)	本学 Web サイトにおいて公表 https://www.shokei-gakuen.ac.jp/files/gakuen/R04.pdf

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:令和5年度学校法人処刑学園事業計画書 対象年度:令和5年度)
公表方法:本学 Web サイトにおいて公表 https://www.shokei-gakuen.ac.jp/files/gakuen/r5_jigyokeikaku.pdf
中長期計画(名称:第二期中長期計画~2023年4月~2033年3月~ 対象年度:(令和5年~令和14年)
公表方法:本学 Web サイトにおいて公表 https://www.shokei-gakuen.ac.jp/files/gakuen/dai2ki_keikaku.pdf

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法:本学 Web サイトにて公表 https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/outline/daigakuhyoka
--

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法:本学 Web サイトにて公表 https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/outline/daigakuhyoka
--

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 総合生活学科
教育研究上の目的（公表方法：本学 Web サイトにおいて公表） https://www.shokei-gakuen.ac.jp/files/univ/disclosure/2023/gakusoku_tanki.pdf
（概要） 総合生活学科は、情報・福祉・衣食住などを基礎的総合的に学び、現代生活への理解を深め、より良い家庭や地域を創造する能力と実践的スキルを身につけた人材を育成することを目的とする。（尚絅大学短期大学部学則第 4 条）
卒業の認定に関する方針（公表方法：本学 Web サイトにおいて公表） https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/gakubu/diploma_policy
（概要） 総合生活学科は、建学の精神のもと、講義、演習、実技および実験・実習を通して以下の素養・能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した学生に卒業を認定し、「短期大学士（生活学）」の学位を授与します。 (1)文化・社会や自然に関する知識を体系的に理解するとともに、主体的な学びを通して豊かな人間性を培い、良識のある社会人としての教養や態度を身につけている。 (2)生活に関連する情報、福祉・健康、アパレル・インテリアの領域において専門的知識・実践的スキルを身につけ、実生活に活かし役立てることができる。 (3)自らの倫理観・職業観を確立し、現代社会の諸問題に対して主体的に考え、行動することができる。 (4)様々な手法による情報活用能力を身につけ、様々な人々とコミュニケーションをとりながら、自らの意見を適切に表現し、良好な人間関係を発展させることができる。 (5)多様な立場の人々を理解するとともに協力しあい、地域社会に貢献することができる。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：本学 Web サイトにおいて公表） https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/gakubu/curriculum_policy
（概要） 総合生活学科は、学則に掲げる目的及び使命に基づき、ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）に定める素養・能力を修得させるために、以下のような方針でカリキュラムを編成します。 (1)基礎的能力及び幅広く深い教養を身に付ける教養科目と、専門の学芸を身に付ける専門教育科目によりカリキュラムを編成します。 (2)教養科目は、大学教育を受けるために必要な学力と社会人として求められる汎用的能力を養うために、「教養基礎」「外国語」「人間と社会」「自然と生命」の 4 領域により編成します。 (3)初年次に基礎的素養を身に付けるための授業科目を置き、その上に専門的知識と技能を積み上げられるよう授業科目を系統的に配置します。 (4)専門教育科目は、キャリア教育を含め、ビジネス社会に必要な知識・技術を身につける「医療事務・情報ビジネス」、福祉現場等で必要な知識・技術を身につける「福祉ウェルネス」、ファッション・インテリア業界等で求められる知識・技術を習得する「生活デザイン」の 3 つの領域に区分します。これら 3 つの領域の専門知識を習得するとともに技術を身につけるため、講義の他に演習や実習科目を配置します。 (5)実践力及び応用力を伸ばすために「インターンシップ」「卒業演習」「女性と社会」

「ボランティア実習」等の科目を配置します。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：本学 Web サイトにおいて公表）

https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/gakubu/admission_policy

（概要）

総合生活学科は、質の高い家庭・社会生活の創造に関心を持ち、地域社会で活躍したい次のような学生を求めます。

(1)情報・福祉・衣食住に関連した専門的知識・実践的スキルを主体的に身につけ、実生活に活かす意欲がある人

(2)現代社会の諸問題に対して、自らの倫理観・職業観を踏まえて適切に意見を表現しようとする人

(3)多様な立場の人々とコミュニケーションをとりながら理解・協力し合い、地域社会に貢献できる人

入学を希望する人には、高等学校等において基礎学力を習得し、多様な活動を通じて豊かな表現力を身につけていることを望みます。これらに関する能力は、入学後の講義、演習、実習等を通じて、様々な分野で主体的に協働できる能力を身につけるために必要となります。

・入学者の選抜方法として、一般選抜、大学入学共通テスト利用型選抜、学校推薦型選抜、総合型選抜、社会人選抜及び外国人留学生選抜を採用し、上記のような能力・意欲・適性等を多面的・総合的に評価します。

・一般選抜では、国語、英語、生物基礎、化学基礎、食品製造から2教科2科目の記述式試験及び調査書において知識・技能、思考力・判断力・表現力及び主体的かつ多様な人々と協働して学ぶ態度等を総合的に評価し選抜します。

なお、英語について、4技能を測る外部検定試験を利用する場合は、記述式試験を受験又は免除できる選択制とします。また、記述式試験を受験する場合は、外部検定試験の得点と比較し、高得点の方を採用します。

・一般選抜（総合問題）では、小論文を含む総合的な記述式試験及び調査書において知識・技能、思考力・判断力・表現力及び主体的かつ多様な人々と協働して学ぶ態度等を総合的に評価し選抜します。

・大学入学共通テスト利用型選抜では、2教科2科目及び調査書において知識・技能、思考力・判断力及び主体的かつ多様な人々と協働して学ぶ態度等を総合的に評価し選抜します。

・学校推薦型選抜では、小論文、調査書、推薦書及び面接において知識・技能、思考力・判断力・表現力及び主体的かつ多様な人々と協働して学ぶ態度等を総合的に評価し選抜します。

・総合型選抜では、体験授業、面接、自己申告書等及び調査書において知識・技能、思考力・判断力・表現力及び主体的かつ多様な人々と協働して学ぶ態度等を総合的に評価し選抜します。

総合型選抜（自己推薦型）では、自己推薦書、面接及び調査書等において知識・技能、思考力・判断力・表現力及び主体的かつ多様な人々と協働して学ぶ態度等を総合的に評価し選抜します。

・社会人選抜では、社会人経験を2年以上有している方を対象にして、小論文及び面接において社会人としての実績や経験に基づく知識・技能、思考力・判断力・表現力や主体的かつ多様な人々と協働して学ぶ態度等を総合的に評価し選抜します。

・外国人留学生選抜では、作文及び面接において基礎的な日本語能力及び日本で学習する意欲等を総合的に評価します。

<p>学部等名 食物栄養学科</p>
<p>教育研究上の目的（公表方法：本学 Web サイトにおいて公表）</p> <p>https://www.shokei-gakuen.ac.jp/files/univ/disclosure/2023/gakusoku_tanki.pdf</p> <p>（概要）</p> <p>食物栄養学科は、食を通じて人の健康づくりに貢献できる栄養士を育成するため、専門分野の講義、実験・実習により栄養士養成課程としての基礎及び応用理論を学び、幅広い知識・技術・能力を身につけた実践力のある人材の養成を目的とする。（尚綱大学短期大学部学則第4条）</p>
<p>卒業の認定に関する方針（公表方法：本学 Web サイトにおいて公表）</p> <p>https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/gakubu/diploma_policy</p> <p>（概要）</p> <p>食物栄養学科は、建学の精神のもと、講義、演習、実技および実験・実習を通して以下の素養・能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した学生に卒業を認定し、「短期大学士（食物栄養学）」の学位を授与します。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1)文化・社会や自然・生命に関する広い知識を身につけている。 (2)食物、栄養および健康に関する深い専門的知識を身につけている。 (3)食物、栄養および健康に関する諸問題に対して興味・関心を持ち、自ら分析・解決するための思考・判断力を身につけている。 (4)食を通じて人々の健康の増進・疾病の予防に貢献するための実践的スキルを身につけている。 (5)多様化する社会の要求に柔軟に対応するための豊かな表現力とコミュニケーション力を身につけている。 (6)知識を基にさまざまな思考様式や価値を理解し、知を高める主体的な意欲・態度を身につけている。
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：本学 Web サイトにおいて公表）</p> <p>https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/gakubu/curriculum_policy</p> <p>（概要）</p> <p>食物栄養学科は、学則に掲げる目的及び使命に基づき、ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）に定める素養・能力を修得させるために、以下のような方針でカリキュラムを編成します。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1)基礎的能力及び幅広く深い教養を身に付ける教養科目と、専門の学芸を身に付ける専門教育科目によりカリキュラムを編成します。 (2)教養科目は、大学教育を受けるために必要な学力と社会人として求められる汎用的能力を養うために、「教養基礎」「外国語」「人間と社会」「自然と生命」の4領域により編成します。 (3)初年次に基礎的素養を身に付けるための授業科目を置き、その上に専門的知識と技能を積み上げられるよう授業科目を系統的に配置します。 (4)栄養士法施行規則に基づき、専門教育科目を「社会生活と健康」「人体の構造と機能」「食品と衛生」「栄養と健康」「栄養の指導」および「給食の運営」の6領域に区分します。さらに、質の高い栄養士の育成を目的として「その他関連項目」を配置します。 (5)専門教育科目のうち、栄養学的専門知識とその理論を習得する上で必須と位置づけられる科目を必修科目とします。さらに、選択科目の中でも特に栄養士業務を遂行する上で習得が必須となる科目を「栄養士免許必修科目」として配置します。栄養士免許必修科目は卒業要件とはならないが、栄養士免許取得には必須となる科目です。 (6)専門教育科目の中に、栄養学の理論と知識を基礎とし、さらに栄養士としての実践

的能力および技術を身に付けるための実験・実習科目を配置します。具体的な到達目標は、「食品、調理素材の特性や地域性を生かした献立作成能力と調理技術の修得」「疾病の予防と治療のための食事療法の理解と実践能力の育成」「成長期の子どもから高齢者までのライフステージ別の特徴に応じた栄養管理法の修得」および「大量調理における衛生管理や対象者の嗜好に配慮した給食の運営方法の修得」です。また、2年次には実践活動の場として3箇所（学校・保育所、事業所および病院）での校外実習を行います。これらの専門教育科目は学生の能動的学修の充実を図るものであり、同時にキャリア教育の一環としても位置づけます。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：本学 Web サイトにおいて公表）

https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/gakubu/admission_policy

（概要）

食物栄養学科は、高い倫理観に加えて高度な知識と技術を身につけ、実践力を有する栄養士として健康を食の面から支え社会に役立ちたいと思っている次のような学生を求めます。

- (1) 高等学校卒業程度の基礎学力を有している人
- (2) 人の健康づくりに興味があり、基本から主体的かつ体系的に学んで栄養士になりたいと思う人
- (3) 次世代を担う成長期の子どもを対象に食育の推進に貢献したい人
- (4) 疾病の予防と治療のための食事療法について学び、その知識・技術や課題解決のための思考力・判断力を社会で生かして活躍したいと考えている人
- (5) 高齢者をはじめとする福祉の分野で食を通して生活の質の向上を支援したい人
- (6) 食物・栄養・健康に関する幅広い知識・技術や課題解決のための思考力・判断力を家庭や地域社会の健康管理に役立てたいと思う人

入学を希望する人には、高等学校等において、栄養学の基礎となる生物学や化学などの理数系科目の基礎知識と思考力を習得し、また、他者とのコミュニケーションを円滑に行うための能力を身につけていることを望みます。これらの学力・能力は、入学後の授業等において専門性の高い問題に対する自己解決力の基礎となることは勿論、他の学生と協働して様々な課題を探究・解決するための能力を育成するためにも必要となります。

入学者の選抜方法として、一般選抜、大学入学共通テスト利用型選抜、学校推薦型選抜、総合型選抜、社会人選抜及び外国人留学生選抜を採用し、上記のような能力・意欲・適性等を多面的・総合的に評価します。

・一般選抜では、国語、英語、生物基礎、化学基礎、食品製造から2教科2科目の記述式試験及び調査書において知識・技能、思考力・判断力・表現力及び主体的かつ多様な人々と協働して学ぶ態度等を総合的に評価し選抜します。

なお、英語について、4技能を測る外部検定試験を利用する場合は、記述式試験を受験又は免除できる選択制とします。また、記述式試験を受験する場合は、外部検定試験の得点と比較し、高得点の方を採用します。

・一般選抜（総合問題）では、小論文を含む総合的な記述式試験及び調査書において知識・技能、思考力・判断力・表現力及び主体的かつ多様な人々と協働して学ぶ態度等を総合的に評価し選抜します。

・大学入学共通テスト利用型選抜では、国語、英語、理科、数学から2教科2科目及び調査書において知識・技能、思考力・判断力及び主体的かつ多様な人々と協働して学ぶ態度等を総合的に評価し選抜します。

学校推薦型選抜では、小論文、調査書、推薦書及び面接において知識・技能、思考力・判断力・表現力及び主体的かつ多様な人々と協働して学ぶ態度等を総合的に評価し選抜します。

・総合型選抜では、体験授業、面接、自己申告書等及び調査書において知識・技能、思

<p>考力・判断力・表現力及び主体的かつ多様な人々と協働して学ぶ態度等を総合的に評価し選抜します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合型選抜（自己推薦型）では、自己推薦書、面接及び調査書等において知識・技能、思考力・判断力・表現力及び主体的かつ多様な人々と協働して学ぶ態度等を総合的に評価し選抜します。 ・社会人選抜では、社会人経験を2年以上有している方を対象にして、小論文及び面接において社会人としての実績や経験に基づく知識・技能、思考力・判断力・表現力や主体的かつ多様な人々と協働して学ぶ態度等を総合的に評価し選抜します。 ・外国人留学生選抜では、作文及び面接において基礎的な日本語能力及び日本で学習する意欲等を総合的に評価します。
--

<p>学部等名 幼児教育学科</p>
<p>教育研究上の目的（公表方法：本学 Web サイトにおいて公表） https://www.shokei-gakuen.ac.jp/files/univ/disclosure/2023/gakusoku_tanki.pdf</p>
<p>（概要） 幼児教育学科は、子どもの心、遊び、発達、健康などについて基礎的総合的な理解を深め、健やかな生活、遊びを導く実践的な保育者の技量を養い、子どもに信頼され慕われる人間性豊かな幼稚園教諭・保育士・保育教諭を養成し、地域社会の保育の発展に寄与することを目的とする。（尚綱大学短期大学部学則第4条）</p>
<p>卒業の認定に関する方針（公表方法：本学 Web サイトにおいて公表） https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/gakubu/diploma_policy</p>
<p>（概要） 幼児教育学科は、建学の精神のもと、講義、演習、実技および実験・実習を通して以下の素養・能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した学生に卒業を認定し、「短期大学士（幼児教育学）」の学位を授与します。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1)保育・教育に関する基本的な理解ができている。 (2)子どもの権利、福祉についての見識、問題意識が備わっている。 (3)子どもの成長、発達、健康、保健、食などについて、生活や活動を発展・充実させるための総合的な理解ができている。 (4)子どもの表現や遊び、生活・活動等を豊かにする保育・教育の実践的な技量が備わっている。 (5)子どもの発達や子どもを取り巻く環境などを理解し、適切に対応しようとする態度が備わっている。 (6)保育についての実践と省察を重ね、保育者としての資質・能力が備わっている。 (7)保育の世界や地域社会に関わる態度と意欲が備わっている。
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：本学 Web サイトにおいて公表） https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/gakubu/curriculum_policy</p>
<p>（概要） 幼児教育学科は、学則に掲げる目的及び使命に基づき、ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）に定める素養・能力を修得させるために、以下のような方針でカリキュラムを編成します。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1)基礎的能力及び幅広く深い教養を身に付ける教養科目と、専門の学芸を身に付ける専門教育科目によりカリキュラムを編成します。 (2)教養科目は、大学教育を受けるために必要な学力と社会人として求められる汎用的

能力を養うために、「教養基礎」「外国語」「人間と社会」「自然と生命」の4領域により編成します。

- (3)初年次に基礎的素養を身に付けるための授業科目を置き、その上に専門的知識と技能を積み上げられるよう授業科目を系統的に配置します。
- (4)専門教育科目では、教職に関する法令及び「指定保育士養成施設の指定及び運営に関する基準」に基づき、幼稚園教諭二種免許状及び保育士資格の取得を目指し、必要とされる知識・技能を、各分野において基礎から系統的に深めるとともに、保育実習や教育実習での実践とも関連づけて学ぶことができるように科目を配置します。
- (5)個性ある保育者を養成するために、保育に必要とされる各領域の専門性を高める選択科目を配置します。また各自が特に専門領域について学びを深めるための必修科目として小グループのゼミ形式で行われる専門研究を配置します。
- (6)保育者としての知識・技能を深め、理論と実践の融合を図るため、附属こども園及び学外の認定こども園、幼稚園、保育所、児童福祉施設等での実習を、法令等に基づき、適切な時期に配置します。
- (7)2年次後期には、2年間の学修成果を統合するとともに、各自が履修カルテにより学修状況を振り返り、幼稚園教諭二種免許状及び保育士資格を取得するにあたっての長所を確認し、課題を克服することができるよう「保育・教職実践演習」を配置します。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：本学 Web サイトにおいて公表）

https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/gakubu/admission_policy

（概要）

幼児教育学科は、子どもに寄り添い、子どもの成長、発達を豊かに育むことのできる確かな知識と実践力を有する保育者の育成を目ざしています。そのために子どもの世界に関心と意欲を持つ次のような学生を求めます。

- (1)子どもの世界（こころ、生活、遊び、健康等）に関心を持ち、そのための理論と技量を身につけたいと考える人
- (2)子どもの権利や福祉に関心を持つ人
- (3)保育職（幼稚園教諭、保育士、保育教諭、施設保育士）に就き、地域社会に貢献したいと考える人
- (4)保育に必要な自己表現やコミュニケーションの能力を身につけたいと考える人

入学を希望する人には、高等学校等において集団的な活動、社会的な活動を通じた主体性・協働性や、コミュニケーション力の基礎を身につけていることを望みます。これらに関する能力は、入学後の講義、演習、実習等において、様々な世代や環境において、他者と協働できる能力を育成するために必要となります。

入学者の選抜方法として、一般選抜、大学入学共通テスト利用型選抜、学校推薦型選抜、総合型選抜、社会人選抜及び外国人留学生選抜を採用し、上記のような能力・意欲・適性等を多面的・総合的に評価します。

- ・一般選抜では、国語、英語の2教科2科目の記述式試験及び調査書において知識・技能、思考力・判断力・表現力及び主体的かつ多様な人々と協働して学ぶ態度等を総合的に評価し選抜します。なお、英語について、4技能を測る外部検定試験を利用する場合は、記述式試験を受験又は免除できる選択制とします。また、記述式試験を受験する場合は、外部検定試験の得点と比較し、高得点の方を採用します。
- ・一般選抜（総合問題）では、小論文を含む総合的な記述式試験及び調査書において知識・技能、思考力・判断力・表現力及び主体的かつ多様な人々と協働して学ぶ態度等を総合的に評価し選抜します。
- ・大学入学共通テスト利用型選抜では、国語と国語以外の1教科1科目及び調査書において知識・技能、思考力・判断力及び主体的かつ多様な人々と協働して学ぶ態度

等を総合的に評価し選抜します。

- ・学校推薦型選抜では、小論文、調査書、推薦書及び面接において知識・技能、思考力・判断力・表現力、知識・技能と共に主体的かつ多様な人々と協働して学ぶ能力等を総合的に評価し選抜します。
- ・総合型選抜では、体験授業、面接、自己申告書等及び調査書において知識・技能、思考力・判断力・表現力や主体的かつ多様な人々と協働して学ぶ態度等を総合的に評価し選抜します。
- ・総合型選抜（自己推薦型）では、自己推薦書、面接及び調査書等において知識・技能、思考力・判断力・表現力及び主体的かつ多様な人々と協働して学ぶ態度等を総合的に評価し選抜します。
- ・社会人選抜では、社会人経験を2年以上有している方を対象にして、小論文及び面接において社会人としての実績や経験に基づく知識・技能、思考力・判断力・表現力や主体的かつ多様な人々と協働して学ぶ態度等を総合的に評価し選抜します。
- ・外国人留学生選抜では、作文及び面接において基礎的な日本語能力及び日本で学習する意欲等を総合的に評価します。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：本学 Web サイトにおいて公表

(URL：<https://www.shokei-gakuen.ac.jp/outline/>)

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a.教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
－	1人	－					人
総合生活学科	－	2人	3人	1人	0人	0人	6人
食物栄養学科		3人	2人	1人	1人	3人	10人
幼児教育学科	－	3人	5人	3人	2人	0人	13人
b.教員数（兼務者）							
学長・副学長			学長・副学長以外の教員				計
0人			78人				78人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法： https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/teacher					
c.FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
本学 Web サイトにて公表 https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/outline/fd							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a.入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
総合生活学科	80人	36人	45%	160人	90人	56.3%	0人	0人

食物栄養学科	80人	67人	83.8%	160人	125人	78.1%	0人	0人
幼児教育学科	100人	110人	110%	250人	249人	99.6%	0人	0人
合計	260人	213人	81.9%	570人	464人	81.4%	0人	0人
(備考)								

b.卒業生数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
総合生活学科	57人 (100%)	3人 (5.3%)	47人 (82.5%)	7人 (12.2%)
食物栄養学科	70人 (100%)	14人 (20%)	54人 (77.1%)	2人 (2.9%)
幼児教育学科	151人 (100%)	1人 (0.7%)	150人 (99.3%)	0人 (0%)
合計	278人 (100%)	18人 (6.5%)	251人 (90.3%)	9人 (3.2%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
<p><就職先：総合生活学科> 株式会社ヒューマンアイズ熊本統括事業所、株式会社アソウ・アルファ、株式会社ワールドインテック、UT エイム株式会社、RYO DENTAL OFFICE リョウデンタルオフィス、石川歯科医院、医療法人社団陽志会 増田内科・胃腸内科、社会福祉法人不動会 一本松荘特別養護老人ホーム、社会福祉法人伸生紀、社会福祉法人豊生会、株式会社キャン、株式会社フードウェイ、パティスリーヴォロニテ、株式会社南九州マツダ、株式会社タケモト、ユナイテッドトヨタ熊本株式会社、株式会社 Coo&RIKU 東日本、株式会社フードウェイ、農事組合法人福栄組合、株式会社美咲、株式会社キャン、株式会社 INGNI、ジョウツウ株式会社、株式会社新生堂薬局、日本アドバンス株式会社、株式会社ハウディ、学校法人尚綱学園、天草信用金庫、熊本 NOK 株式会社、株式会社伊澤製作所、ナカヤマ精密株式会社、株式会社グローバルワークス、熊本バス株式会社、共同エン지니어リング株式会社、リゾートトラスト株式会社、株式会社鮎里ホテル、司観光開発 株式会社司ロイヤルホテル、株式会社プラス1 (勤務地：つばきグリル西熊本店) ANA クラウンプラザホテル熊本ニュースカイ、株式会社グリーンホテルズコーポレーション、FAVORIX BEUATY 株式会社、株式会社 RAJA (BEST HERBS グループ)、株式会社ミュゼプラチナム、熊本市農業協同組合</p>				
<p><就職先：食物栄養学科> 一般社団法人熊本市医師会 熊本地域医療センター、医療法人野尻会 熊本泌尿器科病院、国保水俣市立総合医療センター、医療法人城南ヘルスケアグループくまもと南部広域病院、一般社団法人熊本市医師会 熊本地域医療センター、医療法人小林会 小林病院、医療法人清和会 平成とうや病院、医療法人社団上野会 熊本博愛病院、医療法人グリーンヒル (ウィメンズクリニック グリーンヒル)、特定医療法人佐藤会 弓削病院、竜之介動物病院、社会福祉法人七城福祉会 障害者支援施設 居屋敷の里、社会福祉法人鞍岳会 川辺保育園、社会福祉法人一宇会 一宇保育園、社会福祉法人文政福祉会 文政保育園 医療法人社団郁英会 (介護老人保健施設かなこぎ苑)、社会福祉法人青山会 くわのみ荘、社会福祉法人岳寿会 特別養護老人ホーム梅香苑、社会福祉法人福芳会 福本保育園、社会福祉法人菊陽会 三里木保育園、社会福祉法人すみれ福祉会 カトレア保育園、社会福祉法人あおば会 あおば保育園、社会福祉法人やまびこ会 愛育保育園、社会福祉法人白百合福祉会 百合ヶ丘保育園、社会福祉法人清和会 ケアハウス聖和園、有限会社てんてまり、株式会社KDS熊本ドライビングスクール、社会福祉法人佐土原福祉会 認定こども園エンゼル保育園、学校法人尚綱学園、社会福祉法人三澄会 幼保連携型認定こども園 くほんじこども園、西原村役場、熊本市役所 (健康福祉局子ども未来部保育幼稚園課)、株式会社プラスワン、株式会社リンク・フーズ、株式会社 LEOC、九州総合サービス株式会社、淀川食品株式会社、学校法人中村学園 中村学園事業部、富士産業株式会社、一富士フードサービス株式会社、walet (ワレット)、株式会社ウィナーズ、西部電設株式会社、株式会社 Daiking (取締役社長)、株式会社丸暉商店</p>				

<就職先：幼児教育学科>

NPO 法人ひかるつめくさ、天草市立御所浦北保育所（天草市役所 非正規：臨採）、一般社団法人志誠会児童発達支援センターGIFT、学校法人愛和学苑幼保連携型認定こども園亀の子幼稚園、学校法人有明中央学園幼稚園型認定こども園南関ひまわり幼稚園、学校法人大阿蘇学園認定こども園阿蘇中央幼稚園、学校法人清水学園幼保連携型認定こども園城北幼稚園、学校法人第一学園杉並台幼稚園、学校法人立田学園立田幼稚園、学校法人つくし福祉会つくし保育園、学校法人常盤学園幼稚園型認定こども園ときわ幼稚園、学校法人中九州第二学園認定こども園帯山幼稚園、学校法人光寿学園ルンビニー幼稚園、学校法人本願寺学園認定こども園人吉中央幼稚園、学校法人松橋学園松橋幼稚園、学校法人松本学園おおくらの森幼稚園、学校法人リズム学園認定こども園リズム幼稚園、学校法人ルーテル学園認定こども園めぐみ幼稚園、学校法人和考学園ちぐさ幼稚園、株式会社 Branches 四季のいろ保育園舞鶴園、株式会社 Plus Human おひさま保育園、株式会社アイグラン 肥後タクシー有限会社よやす保育園、株式会社アイグラン Ai 保育園尾ノ上、株式会社ミアヘルサ ミアヘルサ保育園ひびき、熊本市立菱形保育園（熊本市役所 正規採用）、社会福祉法人愛育学園、社会福祉法人愛和学院大津いちご保育園、社会福祉法人愛和学院元気の森ラビット保育園、社会福祉法人愛和学院さくら保育園、社会福祉法人愛和学院ちゃれんじ保育園、社会福祉法人愛和学院光の森キャロット保育園、社会福祉法人青豊会佐伊津保育園、社会福祉法人秋津福祉会さくらぎ保育園、社会福祉法人あそか福祉会あそか保育園、社会福祉法人有明中央福祉会南関こどもの丘保育園、社会福祉法人江南福祉会海士江保育園、社会福祉法人小川大空会大空保育園、社会福祉法人かしま福祉会嘉島保育園、社会福祉法人喜育園幼保連携型認定こども園山東こども園、社会福祉法人聞光会 ひかり保育園、社会福祉法人キリスト教児童福祉会児童養護施設広安愛児園、社会福祉法人くすの実福祉会くすの実こども園、社会福祉法人光恩福祉会幼光保育園、社会福祉法人香蘭育成会しおばる保育園、社会福祉法人済生会 済生会しらふじ子ども園、社会福祉法人桜ヶ丘福祉会 桜ヶ丘こども園、社会福祉法人さくら保育園、社会福祉法人さつき会さつきヶ丘保育園、社会福祉法人山水平学園東成山学園、社会福祉法人三澄会幼保連携型認定こども園くほんじこども園、社会福祉法人慈愛園 ひかり幼児園、社会福祉法人慈愛園愛光幼児園、社会福祉法人慈愛福祉会慈愛保育園、社会福祉法人七城園山鹿東保育園、社会福祉法人しみず福祉会幼保連携型認定こども園まんごく保育園、社会福祉法人純心会 空港保育園、社会福祉法人純心会第三空港保育園、社会福祉法人城山福祉会幼保連携型認定こども園城山保育園、社会福祉法人城北会たつだの森保育園、社会福祉法人白川園若草学園児童発達センターおひさま、社会福祉法人白百合福祉会白百合保育園、社会福祉法人仁愛園幼保連携型認定こども園仁愛幼児園、社会福祉法人すみれ福祉会轟保育園、社会福祉法人善照福祉会かおう保育園、社会福祉法人速證会宇土エンゼル保育園、社会福祉法人たから福祉会たから保育園、社会福祉法人託麻小山保育園、社会福祉法人託麻寮はけみや保育園、社会福祉法人たけのこ会菊池幼楽園、社会福祉法人竹葉会内牧保育園、社会福祉法人田島会田島保育園、社会福祉法人築添福祉会パール保育園、社会福祉法人つくしんぼ福祉会つくしんぼ保育園、社会福祉法人つるまる福祉会つるまる保育園、社会福祉法人天水若竹会玉水保育園、社会福祉法人東京児童協会、社会福祉法人友宝会和幸保育園、社会福祉法人豊川福祉会豊川保育園、社会福祉法人都呂々福祉会都呂々保育園、社会福祉法人西瀬福祉会認定こども園さざなみ保育園、社会福祉法人東康会、社会福祉法人日吉福祉会日吉保育園、社会福祉法人福愛会ひがしまち保育園、社会福祉法人福芳会阿蘇こうのとり保育園、社会福祉法人福芳会光の森武蔵ヶ丘保育園、社会福祉法人双葉福祉会八代双葉保育園、社会福祉法人文政福祉会文政保育園、社会福祉法人本田学園あじさい保育幼稚園、社会福祉法人正道会博多ほしにねがいを保育園、社会福祉法人まどか会宮地保育園、社会福祉法人三澄会くほんじこども園、社会福祉法人みどり福祉会高森保育園、社会福祉法人南風福祉会西合志南保育園、社会福祉法人南野福祉会原田保育園、社会福祉法人三山会青空保育園、社会福祉法人睦美福祉会むつみ保育園、社会福祉法人紫水会黒髪幼愛園、社会福祉法人モロナイ会 幼保連携型認定こども園モロナイ保育園、社会福祉法人モロナイ会寺原保育園、社会福祉法人八代市高田東部福祉会高田東部保育園、社会福祉法人山北保育園、社会福祉法人山清福祉会幼保連携型認定こども園やまなみ、社会福祉法人やまびこ会愛育保育園、社会福祉法人瑩光福祉会瑩光保育園、社会福祉法人よつば福祉会幼保連携型認定こども園よつば保育園、社会福祉法人力合福祉会幼保連携型認定こども園力合さくら子ども園、社会福祉法人立正福祉会かわしりこども園、社会福祉法人緑風会玉名くすのき保育園、社会福祉法人倫友会香椎浜保育園

社会福祉法人わかき福祉会わかき保育園、社会福祉法人若宮会わかみや保育園、特定非営利活動法人おーさあ おーさあ保育園 Co どおーも、ながみね乳児保育園、広安さくらんぼクラブ（上益城郡益城町・学童保育放課後児童クラブ）、ライクキッズ株式会社、学校法人光寿学園ルンビニー幼稚園、社会福祉法人愛和学院光の森キャロット保育園、社会福祉法人本田学園あじさい保育幼稚園

(備考)

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
総合生活学科	62人 (100%)	56人 (91.8%)	2人 (3.3%)	4人 (4.9%)	0人 (0%)
食物栄養学科	76人 (100%)	70人 (92.1%)	0人 (0%)	6人 (7.9%)	0人 (0%)
幼児教育学科	155人 (100%)	144人 (92.9%)	2人 (1.3%)	9人 (5.8%)	0人 (0%)
合計	293人 (100%)	270人 (92.2%)	4人 (1.4%)	19人 (6.5%)	0人 (0%)

（備考）令和3年4月に食物栄養学科へ入学した1名は、令和4年10月に総合生活学科へ転学科し、令和5年3月に退学したため、総合生活学科の入学者及び中途退学者で計上。

⑤ 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

<p>（概要） 尚綱大学授業計画作成手引き （URL：https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/outline/disclosure）</p> <p>各学部の授業科目のシラバス一覧 https://gakumu.shokei-gakuen.ac.jp/（ゲストユーザーからログイン）</p>

⑥ 学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

<p>（概要） 尚綱大学短期大学部学則第12条に定められた単位の計算方法により各授業科目の単位数を決定し、且つ尚綱大学短期大学部学則第23条及び第29条に基づき、単位・卒業の認定を行う。本学では単位の認定を行うにあたり、各教員に対してその授業を学ぶ「意味・意義」を意識させたシラバスの作成を求め、またその授業科目がディプロマ・ポリシー（学位授与方針）とどのように関与しているかを明示するよう求める。 具体的には「授業概要」「キーワード」「事前・事後学修」「課題と評価の方法」など記載し、入学した学部・学科の教育課程の授業を履修し、各授業科目に定めている「到達目標」を達成し、学力試験及び受講状況その他により認定のうえ、合格した者に単位を認定するものとする。 最終的に2年以上在学し、所定の授業を履修したうえで、62単位以上の単位を修得した者について学年又は学期の終わりに教授会の議を経て、学長が卒業を認定とする。</p> <p>（根拠学則） 尚綱大学短期大学部学則第12条、同第23条、同第29条 https://www.shokei-gakuen.ac.jp/files/univ/disclosure/2023/gakusoku_tanki.pdf</p> <p>尚綱大学短期大学部におけるグレート・ポイント・アベレージ（GPA）制度に関する規程 https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/outline/disclosure</p> <p>尚綱大学短期大学部ディプロマ・ポリシー https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/gakubu/diploma_policy</p>
--

学部名	学科名	卒業に必要となる 単位数	G P A制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
短期大学部	総合生活学科	62 単位	○・無	56 単位
	食物栄養学科	62 単位	○・無	56 単位
	幼児教育学科	62 単位	○・無	56 単位
G P Aの活用状況 (任意記載事項)		公表方法：本学の Web サイトにて公表 https://www.shokei-gakuen.ac.jp/files/univ/disclosure/2019/11_gpa_tanki.pdf		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：本学の Web サイトにて公表 https://www.shokei-gakuen.ac.jp/files/univ/disclosure/2022/21_bunpu_tanki.pdf		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：本学 Web サイトにて公表 https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/campus-life/kuhonji (九品寺) https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/campus-life/musashi (武蔵ヶ丘)
--

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
短期大学部	総合生活学科	670,000 円	220,000 円	260,000 円	施設設備費・休学納付金
	食物栄養学科	670,000 円	220,000 円	310,000 円	
	幼児教育学科	670,000 円	220,000 円	260,000 円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a.学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) 学修支援センター (URL： https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/campus-life/gakusyu/) 平成 29 年 4 月に学修支援センターを設置し、授業についていけない、学修の方法が分からない、レポートの書き方が分からない、就職試験の一般教養に自信がない、編入学のための準備の仕方が分からない等々の悩みや不安に寄り添い、日々の学修活動がスムーズにいくように支援している。 具体的には、高校までの学習内容の復習や授業内容の補習の他、個別の学習・履修相談、資格取得等の幅広い相談にも応え、九品寺及び武蔵ヶ丘両キャンパスで数学または英語のサポート教科を開講している。また、九品寺キャンパスにおいては管理栄養士の国家試験合格が求められる生活科学部の学生を中心に生物・化学の学習支援のほか、国際交流協定校での語学留学に向けた英語、中国語、韓国語のスキルアップや諸外国の海外事情等のレクチャーを行うなどの支援を行っている。 このほか、学修相談、履修相談を両キャンパス教務課で行い、スムーズな履修登録が行えるよう指導している。 学修環境について、九品寺キャンパスでは大学図書館のグループ学習室、武蔵ヶ丘キャンパスでは短大棟に学習室を設け、サポートを行う教科を開講し、学生の自習等に利用できるよう整備されている。

<p>b.進路選択に係る支援に関する取組</p> <p>(概要)</p> <p>就職・進路支援センター (URL : https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/career/)</p> <p>就職・進路支援センターでは、学生の多様なニーズに対応し、希望の就職・進路の実現をサポートしており、①個別支援(履歴書・エントリーシート対策、キャリアカウンセリング、模擬面接)②就職支援・資格取得支援(就職対策講座、簿記検定対策講座)③就職支援プログラム(インターンシップ、経営者による講演、会社説明会、企業研究会)④キャリアガイダンス(専門家や社会人による講演、合同会社説明会兼企業研究会、模擬面接、グループディスカッション、メイク・マナー講座、社会人への準備支援セミナー)など希望の就職・進路の実現ができるようバックアップの体制を整えている。学生の希望をしっかりと聞き取り、本人に寄り添いながら人生設計を踏まえ将来のビジョンを共に考えるなど、最適な就職・進路の選択や決定ができるよう支援を行い、夢や希望を実現させるための充実した就職支援体制を整えている。</p>
<p>c.学生の心身の健康等に係る支援に関する取組</p> <p>(概要)</p> <p>九品寺キャンパス及び武蔵ヶ丘キャンパスに学生支援課を置き、学生生活に関すること全般にわたり支援を行っている。特に学生の心身の健康等に係る支援に関する取組みについては、以下のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各キャンパスにおいて年1回(4月)に健康診断を実施し、学生の健康状態を把握する。 ・各キャンパスにおいて、保健室(養護教諭を置く)を設置し、学生の健康状態を把握する。 ・各キャンパスにカウンセラー室を設置し、週1回、臨床心理士又はソーシャルワーカー(社会福祉士)による相談を受け付けている。 <p>これらについては、学生の健康状態、心身の相談状況等を学生支援課、保健室、カウンセラー、キャンパスソーシャルワーカーで連携し、学生の状況について改善を図るよう努めている。</p> <p>このほか、新入生に対し「学生支援講座」を開講し、学生に対し「薬物乱用防止」、「こころの健康」、「女性の健康」の講話を受講させ、心身の健康に係る支援を行っては声掛けをして必要な対応や支援を行うことを予定している。</p>

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

<p>公表方法：本学 Web サイトにて公表</p> <p>https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/outline/disclosure</p>

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード	F243310111389
学校名	尚綱大学短期大学部
設置者名	学校法人尚綱学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		97人	97人	102人
内 訳	第Ⅰ区分	60人	58人	
	第Ⅱ区分	21人	20人	
	第Ⅲ区分	16人	19人	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				102人
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定		0人	—
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位数が標準単位数の5割以下)		0人	0人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況		0人	—
「警告」の区分に連続して該当		0人	—
計		0人	—
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）				
年間	0人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	—
3月以上の停学	0人
年間計	—
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の6割以下)		0人	0人
G P A等が下位4分の1		22人	—
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況		—	—
計		24人	—
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。